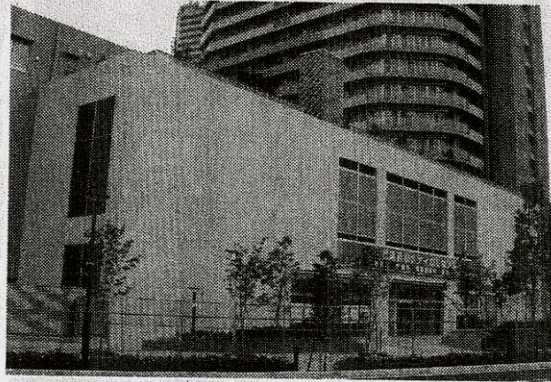


来月3日オープン

12診療科 全国最大級の医療モール



診療十二科をそろえた全国最大級の医療モール「武蔵浦和メディカルセンター」写真が七月三日、JR武蔵浦和駅前にオープンする。

医療モールは、組合施行の武蔵浦和駅前の「8の1街区市街地再開発事業」で完成した最高三十一階建て延べ床面積約十二万五千平方メートルの複合施設「MUSE CITY」の一部約五千平方メートルに開設される。

内科、外科、小児科、神経内科、アレルギー科、胃腸科、眼科、皮膚科、泌尿器科、肛門科、麻酔科、歯

武蔵浦和駅前に完成

科、人工透析の各専門医（七人）が開業する。

大学病院や総合病院などを「パートナー」とすれば、それぞれの医師が独立自営する医療モールは、ショッピングセンターの専門店街にたとえられる。

最近では、ショッピングセンター自体が、相乗効果に期待して、医療機能を導入することも珍しくない。利用者（患者）の利便性に応えるものとして、全国的なトレンドになっている。

しかし、ほとんどが数科で、「武蔵浦和メディカルセンター」のような多くの診療科目をそろえたケースは少ない。

武蔵浦和駅周辺は、市街地再開発事業や民間によるマンション建設が活発になつていて、人口も増えている。MUSE CITYも、ショッピングセンターと三百五十七戸のマンション、スポーツ施設などの複合的な機能を持つ再開発ビル。土地と施設を新たに確保するコストを考えると、多数の利用を期待できる医療モールのほうがリスクが少ないとの判断で、入居を希望する医療関係者が集まつた。